

スポ推よこすか

Vol. 22

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成26年3月1日 発行



第54回全国スポーツ推進委員研究協議会

2013年11月21日(木)・22日(金)にかけて、和歌山県ピックホール他で開催され、全国からスポーツ推進委員、行政スポーツ担当職員が3000名参加しました。

アトラクションの黒潮・躍虎太鼓保存会・孫子の会(甲冑)・紀州雑賀鉄砲隊による和太鼓と火縄銃の共演は、迫力のあるものでした。

またその後の式典では、大楠学区の鈴木貞男副会長が永年の協議会活動に尽力された功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞されました。



基調講演は地元和歌山出身でNHK野球解説者の小久保裕紀氏が座右の銘であり著書にもなっている「一瞬に生きる」と題して、侍JAPAN監督としての話も含め、お話いただきました。引き込まれる話術で、あっという間の講演でした。

翌日は分科会が開催されましたが、横須賀市は第二分科会：コーディネーター 原田雅彦(早稲田大学スポーツ科学学術院教授)、テーマ「スポーツと観光が結びついた地域活性化」～地域の特性を活かした取組の推進とその可能性～に参加しました。分科会で話を聞き、横須賀市でも可能であること、その為にはさらに研鑽の必要性があることなどに気づきました。参加したおかげで、全国・神奈川県のスボ推の仲間達と交流が深まりました。

副会長 林 但(富士見)

平成25年度 神奈川県スポーツ推進委員研修会

平成25年度神奈川県スポーツ推進委員研修会が、11月23日(土・祝)横浜市平沼記念体育会館で行われました。当日は生涯スポーツ種目の指導法等の研修を目的に、県内のスポーツ推進委員320名(横須賀市は7名)が集まり、ラジオ体操と太極拳の研修を行いました。

開会式終了後、ラジオ体操研修は、皆さんよく御存知の「ラジオ体操第一」の13種類を順を追って指導を頂きました。体操経験が少ない人によく見られる傾向として、腕だけが一生懸命動いていて、下半身がおろそかになってしまうそうです。

講師の正しい基本姿勢の模範に合わせて、全員が実際に体操を行っていき、途中では二人が組になり互いに動作を確認し、矯正しながら、真剣に、時には笑い声も聞かれ、あっという間に1時間が経過しました。組になった相手に見られることによって、より真剣さが増したのか、恥ずかしいことに私は翌日筋肉痛になってしまいました。

太極拳は8つの動作の入門編を学びました。こちらから講師の動きに合わせて体を動かしていくのですが、簡単な動きの様に見えて中々その通りには体がついて行けず、四苦八苦の1時間でした。

ラジオ体操・太極拳とも自分の体力に合わせて行うことが出来る運動だということを実感し、年齢・性別を問わず誰もがいつでも楽しむことが出来る生涯スポーツである事を実感した研修でした。



事業部 山口 友成(山崎)

横須賀三浦ブロック研修会

平成25年度県横三ブロック研修会が、12月1日（日）三浦市総合体育会館（潮風アリーナ）で開催されました。当日は、各市町村より63名の参加があり、熱心な研修会が行われました。

研修種目はミニバレーボール。バドミントンのダブルスコートを使用し、ビーチボールを使って4人で競技するニュースポーツです。基本のルールはソフトバレーボールと同じです。参加者が12チームに分かれ、4チームずつ3ブロックに分けて予選リーグを行い、各ブロックの1・2位のチームが順位決定戦に進みました。ボールは柔らかく、子供からお年寄りまで気軽に楽しめる種目ですが、空気の抵抗でボールが失速したり、思いがけないような変化球になるので、珍プレー・好プレーが続出し、笑顔あふれる充実した研修会になりました。



記事 新倉 玲子 広報副部長（大楠）
写真 林 但 副会長（富士見）

三浦半島県下駅伝競走大会

2014年も明けて間もなく、1月19日（日）に横須賀・葉山・三浦路を颯爽とランナーが駆け抜けました。今年もこの日の為に厳しい練習を重ね、チーム一丸となって挑む三浦半島県下駅伝大会。我々スポーツ推進委員も走路員として、今大会を支えました。天候は晴れ。気温5℃と寒い中ではありましたが、目の前を瞬時に走るランナーを支援できる喜びの方が勝っていました。どの選手も呼吸は荒く、懸命に襷をつなごうとする姿は感動を呼び起こすものです。この何年かは、大会新記録が出ていますが、今大会でも、市町村対抗の部・高等学校等の部、いずれも1位・2位は大会新。現代の若者は、どの様なモチベーションや練習で、これだけの偉業をたたき出せるのか不思議なくらいです。マラソンプームも更に進んでいる昨今、益々「RUN」と言うスポーツは一般市民に普及する予感がします。当日、走路員所定地に着くと、ご近所の方々が応援に駆け付け、今か今かとランナーを待っている目にも輝きがありました。

今年で68回を迎えた今大会。今後の発展に期待したいところです。

市町村対抗の部 優勝
横須賀市A 1：55：04（大会新）
高等学校等の部 優勝
鎌倉学園 1：57：08（大会新）



記事 原 暁彦 広報部長（長浦）

話が弾み 理解が進んだ！

スポーツ推進委員新年懇親会

1月24日（金）今年も汐入駅前にある、ホテルハーバーにて新年懇親会を開催しました。吉田雄人市長、永妻和子教育長、教育委員会スポーツ課、中村栄治顧問、山田昭子顧問、そしてスポーツ推進委員が33名参加しました。武会長の挨拶に始まり、永妻教育長の挨拶、中村顧問の乾杯で会は進みました。少し遅れて吉田市長が来られ、会はずますます盛り上がりました。また、市長は挨拶の後に各テーブルをまわり、私達の話・提案に耳を傾けていただきました。会場が一番盛り上がったのは、抽選会でした。会長賞・副会長賞そしてホテルハーバー賞でした。そんな中から運よく受賞された福男・福女の方を中心に参加しての感想を伺いました。ハーバー賞を受けた、夏島学区の大沼裕さんは「初めて参加しましたが、大変楽しい時を過ごしました。もっと多くの方が参加できれば親交が深められると思いました。」

今年度より理事になられた神明学区の松崎哲子さんは「大変楽しい時間を過ごすことができ、ありがとうございました。色々な方とお話して感じた事です、人とは不思議なもので、顔見知りでない方も意外な共通点がある事が分かりました。人との繋がりとは大切な事ですね。」との事でした。

最後に、今年度から委員になられた武山学区の嘉山光男さんは「会費が少し高いので、参加人数に関係したのかな？各学区から2～3名参加するともっと他の学区の話も聞けると思います。」

さらに良い協議会になるように、皆で知恵と力を出し合って進めていくことが確認できました。



武会長の挨拶



ハーバー賞受賞 大沼さん



今年のスポ推は33名参加で



吉田市長も参加



記事・写真

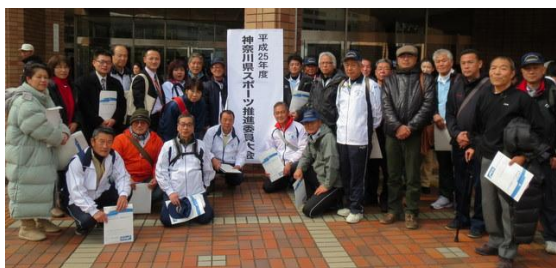


林 但 副会長（富士見）

神奈川県スポーツ推進委員研究大会

2月2日に標記大会が小田急線の新百合ヶ丘駅前の川崎市麻生市民館大ホールで開催されました。横須賀からは市役所の青木さんを含め総勢30名が参加しました。市役所前に集合し、一同バスに同乗し9時には出発し会場に向かいました。10時過ぎには、会場近くの麻生区道路公園センターの駐車場に一番乗りで到着しました。バスを降車し、徒歩で会場前へ向かい場所を確認しました。その後12時半の受付時間まで班毎に自由行動とし、昼食休憩をとりました。

大会は、13時から開演され①アトラクション、②開会式・表彰、③基調講演、④閉会式が予定されていました。開演前はアトラクションの入念なりハーサルのため、大ホールには開演時間ぎりぎりまで入場できず、ホールで待つことになりました。



開会式に先立って行われたアトラクションは、①フラダンスと②ダブルダッチでした。フラダンスは、総合型地域スポーツクラブ SELF(セルフ)のハワイアンクラブによるもので、総勢10名程のウクレレ楽団の演奏と歌で、優雅に魅惑的に踊る20名程のフラダンスチームでした。ダンスチームは、下は小学生から最高齢は80過ぎのおばあちゃんまでと層が厚く楽しませていただきました。参加者一同華やかな踊りとしなやかさに魅了されました。ダブルダッチとは、2本のロープを回す中をダンスやアクロバットを交えて跳ぶ縄跳びです。各種大会で優秀な成績を上げている2チームのスピード感に溢れた演技に目を引かれました。

表彰は、10年の功労者表彰が114名と感謝状表彰者が2名の方々に授与されました。表彰者の地元参加者からの勇ましい激励の声が印象的でした。



基調講演は、国土館大学名誉教授の西山一行氏が「夢をあきらめない」という表題で①箱根駅伝に出場する、②体育の教員指導者となるものでした。我が国の駅伝は、オリンピックのマラソン競技者の強化を目標とした、多くの競技者が参加できることに起因しているとの説明がありました。ご自身も大学1年の時に怪我のために箱根駅伝に参加できず挫折を味わい、怪我をしない強化方法を実践し、念願の箱根駅伝に4年の時はキャプテンとして往路の下りで臨みましたが、自身がブレーキとなって優勝を逃した苦い思いを語られました。あきらめずに目標に向かって精進すれば、努力は報われるということが伝わりました。

記事・写真 新堀 邦明(富士見)

学校体育授業サポート講習会

2月16日(日)、学校体育授業サポート講習会が諏訪小学校で行われました。

スポーツ課伊藤課長から、スポーツ基本計画の説明があり、その中に小学校体育授業の計画、担任と授業に取り組む人材派遣等の話がありました。その後、前島主査指導主事の知覚・聴覚・運動覚と子供への指示の仕方、接し方の講義がありました。支援のポイントは、具体的に褒めてあげることでした。座学後は実技の練習。数人のグループに分かれ、音楽に合わせ先頭の人を真似をしながら動いたり、ポーズを決めたりと、自分で想像しながら行動するという授業。懐かしくもあり、楽しく受講することができました。質の高いサポートはまだですが、何度か繰り返し行い勉強し、スムーズにサポートができればと思いました。

金森 由香里 広報副部長(追浜)



広報部からお知らせ

4月18日(金)に26年度スポーツ推進委員協議会総会が開催予定です。任期途中ですが、皆さんの学区内で理事さん・委員さんの変更がある場合は、早急に事務局へ申請と、新任者の顔写真をお願い致します。26年度、事業で顔を合わせる方々を早く覚えて頂ける様に、広報部も努力します。

<http://sukataishi.jp>

スポ推ホームページはこちらから閲覧できます！

文部科学大臣功労者表彰パーティー

鈴木 貞男 副会長より

平成25年度 文部科学大臣スポーツ推進委員
功労者表彰を受賞して(決意)

昭和58年に秋谷町内会からスポーツ推進委員(当時:体育指導委員)に任命され、いつの間にか31年が経っていました。この間諸先輩方のスポーツ推進委員の方々を始めとした沢山の仲間に応援され今回の受賞に至ったと感じています。この受賞を出発点として微力ではありますが横須賀市のスポーツの振興に寄与できたらと決意を新たにいたしました。

鈴木 貞男 副会長(大楠)



受賞おめでとうございます

衣笠地区スポ推委員交流会

2月23日（日）大矢部小学校体育館にて、衣笠地区全6学区のうち、大矢部学区・森崎学区・公郷学区・城北学区・衣笠学区の5学区21名が参加して行われました。

会長挨拶のあと準備体操となり、石川副会長のご指導のもと行われたが、先ず体育館内をぐるりと一周、前（向き）駆け、横（跳び）駆けからと珍しい始まり方をし、その後横須賀市でも力を入れ始めているラジオ体操で身体をほぐしました。

チームは、各学区混成としAからDまでの4チーム編成にし、全6試合行いました。

ボールを取り損ねて転んでも、勢い余ってネットタッチしても、サーブの時にエンドラインを踏んでも、多少の反省はしつつ、常に笑顔で交流会らしい雰囲気満点で、時間が過ぎていきました。全6試合終了後、要望により1学区で1チーム編成出来ればということで、1セットマッチとして行いました。競技技術は別にして、審判技術（場数を踏み、目が慣れて）は進歩してきていると思える場面も多々ありました。



チーム名	勝	敗	順位
Aチーム	3	0	1
Bチーム	1	2	3
Cチーム	0	3	4
Dチーム	2	1	2

記事・写真 白井 喜八郎（森崎）

編集後記

平成25年度もこの3月で終わります。皆さんの日頃のご尽力により協議会も成り立っております。

来期の26年度も横須賀市のスポーツ振興・発展にご協力お願い致します。

広報部長 原 暁彦